

# 家族のようにあたたかい場所！！



演劇ファミリー Myu  
おみたまチンドンバンド  
よしだ みほ  
**吉田美穂さん**

「みの～れは色々なことが実っている場所。」  
と笑顔で話す吉田さん。

みの～れと共に生活するスタイル  
**Minole Life**  
のすすめ No.86

夏真っ盛り！真っ青な空に、金平糖のような花を付けた百日紅(さるすべり)が、ずっと伸びて私たちの目を楽しませてくれますね。夜空を焦がす大輪の花火。遠くから聞こえる夏祭りのお囃子の音色・・・元気の素を見つけて暑い夏を乗り越えてください。今回は、みの～れ住民劇団演劇ファミリーMyuメンバーで小美玉市西郷地区にお住いの吉田美穂さん取材します。

## Myuそして家族のサポートに感謝！！

吉田さんはひたちなか市の出身で、小美玉市に移り住んできました。小美玉市に来たばかりの頃は、家と職場の往復の繰り返しだったので、みの～れを知らなかったそうです。

「演劇ファミリーMyu(以下Myu)との出会いは、Myuの柴山さんと歌の仕事が一緒だったという縁があって、みの～れへ公演を観に行った時のことです。その時のアンケートに「舞台上に立ってみたいですか？」という質問があって、「はい」と答えて・・・それがきっかけでMyuに入団することになりました。それまで保育士をしていたので、歌も歌っていたし、演じることも好きだったんです」と当時をなつかしそつに話す吉田さん。

みの～れで自分のやりたいことが見つかったと笑顔を見せる吉田さんは「Myuに入ってからたくさんの公演に出演させて

いただきました。その後、子どもができて一時Myuから離れていた時期もあったんですが、戻ってきたときに暖かく迎えてくれて・・・本当に家族のように温かいんですよ、Myuは・・・当時の代表をされていた野手さんが「劇団」じゃなくて、「演劇ファミリーMyu」というネーミングにこだわったという理由が今はとてもよく分かります」とうれしそつに話してくれました。

「今、子どもたちに雰囲気を感じて欲しくて練習に連れてきています。夢は親子共演です。子どもを連れて練習に来て、メンバーの子どもたちが自分の弟のように面倒を見てくれるし、私が舞台上に立って練習をするときは他のメンバーが子どもたちを見てくれるんですよ。7、8年関わっているのですが、Myuは衰退しないで生まれ変わっている。意外に才能ある方たちが近くに住んでいるものなんだと感心しますね」と吉田さん。

育児が忙しく、参加を悩んでいた吉田さんは、柴山さんを始めとするMyuのメンバーの後押しも

あって、今年の10月の舞台、『黄色い袋と魔法のトンネル』に出演することに決めたという。

吉田さんにとってみの～れとはと聞くと、「文化会館なんだけれど他とは全く別物。本当に立ち寄りやすいし、お茶のみにも来れる(笑)。自分たちがやりたいものをサポートしてやらせてくれる。こういうホールに劇団や楽団を持つていることも素晴らしいですね。みの～れのネーミングのように、本当にいろいろな物が実っているような感じがしますね。愛を感じます。そして理解してくれる家族のサポートは本当にありがたいです。柴山さんにも感謝ですね。みの～れに関わるまでは、地理も解らなかったし、友達もいなかった。みの～れに来てたくさんの友達が出来て良かったです」と話す吉田さんはとても幸せそつでした。

『黄色い袋と魔法のトンネル』は勇気と友情の冒険ファンタジー作品です。公演は10月5日(日)開演は14時、みの～れにて整理券を絶賛配布中です。素晴らしい作品なのでぜひ観に来てくださいね！

(藤田佐知子)